

平成30年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【特別の教科 道徳】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東 書	<p>(1) 道徳の目標を達成するための内容項目としては、節度・節制、規則の尊重などに加え、低学年では礼儀、中学年では友情・信頼、高学年では国際理解・国際親善など発達段階を考慮した内容を多く配置している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、いじめ問題について、全学年導入ページでいじめについて考えるという示唆を与え、いじめを直接扱った題材と、いじめをしない、許さない心を育てるのに適した題材の2つを組み合わせ、主体的に自分との関わりで考えられるように工夫している。また、問題解決的な学習については、「とびらのページ」で問題意識を深め、「題材の冒頭」では、考えるポイントを示して、問題の焦点化を図っている。また、「考えるステップ」では、話合いの手引きとして、児童が、学習過程に沿った話合いをしながら考えを深められるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、題材が「とびらのページ」「考えるポイント」「考えるステップ」と段階を踏んで題材に含まれる道徳的価値についての問題を見つけ考える構成にすることで、児童が問題意識をもちながら学習が進められるような工夫が見られる。</p>	<p>3年 これから一年間で学ぶこと P2, 3</p> <p>3年 P29～36</p> <p>3年 P70</p> <p>3年 P73</p> <p>3年 P70～73</p>
11 学 図	<p>(1) 道徳の目標を達成するための内容項目としては、生命の尊さ、思いやり、家族愛に加え、低学年では節度・節制、中学年では友情・信頼、高学年では国際理解・国際親善などを多く配置している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、いじめ問題について、「公正、公平、社会正義」を中心に様々な道徳的価値と関連させた題材があり、日常生活で起こりうる状況の具体例を挙げて生活に生かすページを設け、主体的に自分との関わりで考えられるように工夫している。また、問題解決的な学習については、発問「かんがえよう」を設定し、自分のこととして捉え、深い学びに向かえるような配慮をしている。また、読み物教材の中の問題場面を話し合う発問「はなしあおう」を適した題材に配置し、対話的な学びができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、各題材の構成が、人物の行動や気持ちに共感したり自分との関わりを考えたりする「読みもの」から多面的・多角的な見方・考え方を育てる「活動」の流れになる構成にすることで、道徳的な実践意欲を高めながら学習が進められるような工夫が見られる。</p>	<p>3年 目次 P140</p> <p>3年 P114～116 ㊦ P26～27</p> <p>3年 ㊦ P6</p> <p>3年 P18 ㊦ P20</p>

発行者	総 評	備考
17 教 出	<p>(1) 道徳の目標を達成するための内容項目としては、生命の尊さ、いじめをなくす、情報モラルを重視し、多く配置している。また、伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度に関する題材が特に多い。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、いじめ問題については、学校生活において、正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力などの視点から、よりよい人間関係を築くための題材を発達段階に応じて設定し、主体的に自分との関わりで考えられるように工夫している。また、問題解決的な学習については、内容項目ごとに主題への誘い（導入）を設け、教材を読む前に、どのような価値について学習するのかなどの見通しがもてるようにしている。また、「学びの手引き」により、道徳的価値そのものへの問いを考えたりすることで、価値理解を深められるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、各題材において冒頭で主題への誘いの言葉を投げかけ、その題材でどのような道徳的価値について学習するのかが、何が問題になっているのかを把握できるようにすることで、本時の道徳的価値を常に意識して学習が進められるような工夫が見られる。</p>	<p>3年 目次 P136 の次</p> <p>1年 P34～37 P94～95</p> <p>3年 P68～77</p> <p>5年 P30～35 P84～87</p> <p>3年 P4</p> <p>3年 P44</p> <p>3年 P4 P16 P24</p>
38 光 村	<p>(1) 道徳の目標を達成するための内容項目としては、生命の尊さに加え、低学年では節度・節制、中学年では親切・思いやり、高学年では伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度などを多く配置している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、いじめ問題については、学年の初めに配列してあり、学級や友達との関係づくりに生かす配慮がなされ、いじめをしない、させない、ゆるさない、見過ごさない力を系統的に育成する題材とコラムを合わせて設定し、主体的に自分との関わりで考えられるように工夫している。また、問題解決的な学習については、主体的な学びのために、学習のめあてを示し、課題をしっかりと把握させたり、道徳的価値に迫る発問や自分のこととして考えられるような問いを提示したりすることで、価値の一般化を図ったり、道徳的価値を自分や日々の生活に結びつけたりするような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、同じ内容項目を含む題材2つと、実際の生活にある課題を扱ったコラムを組み合わせた「ユニット」を年間5か所設けて連続的・発展的に同じ内容項目に触れあうようにすることで、児童が自己の生き方についての考えを深めながら学習が進められるような工夫が見られる。</p>	<p>3年 目次 P2, 3 P176</p> <p>3年 P22～37</p> <p>3年 P8 P11</p> <p>3年 P58 P62 P66</p>

発行者	総 評	備考
116 日 文	<p>(1) 道徳の目標を達成するための内容項目としては、生活目標や学校行事などとの関係を考慮するとともに、いじめの防止、情報モラル、安全の確保、社会の持続可能な発展に対応した題材を多く配置している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、いじめ問題について、全学年において最も重要な課題として取り上げ、多面的・多角的な視点から道徳的諸価値と関連させた「いじめをなくすために」という題材を設け、主体的に自分との関わりで考えられるように工夫している。また、問題解決的な学習については、主体的に解決していくステップを例示したり、道徳的実践意欲を育成するための「心のベンチ」の特設ページを設定したりすることで、道徳的問題を自分のこととしてより深くとらえ、道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、各題材に入り込むきっかけとなる「問いかけ」を示して道徳的価値への方向付けをするとともに、各題材の冒頭で中心的に心情や行動を追う登場人物を示してその人物を意識して読めるようにすることで、思考を深めながら学習が進められるような工夫が見られる。</p>	<p>3年 目次 ノートを挟んでいるページ</p> <p>3年 P84～91</p> <p>3年 P32 3年 P21 P61</p> <p>3年 P8 P12</p>
208 光 文	<p>(1) 道徳の目標を達成するための内容項目としては、生命の尊さに加え、低学年では善悪の判断、中学年では規則の尊重、第5学年では相互理解、第6学年では伝統と文化の尊重などを多く配置している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、いじめ問題について、直接的・間接的に児童自身の問題として捉えられるような題材を選定し、身近な生活場面を取り上げた「みんな仲よし楽しい学校」というページを設け、主体的に自分との関わりで考えられるように工夫している。また、問題解決的な学習については、「問いをもつ（導入）」「まとめる（終末）」「広げる（発展）」を設置し、1時間の授業の目的や流れを明確にしながらか、様々な「問いかけ」を行うことで、道徳的価値を実感し、様々な視点から物事を理解し、多面的・多角的に考えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、各教材において児童に寄り添う子どものキャラクターが、場面ごとに欄外で児童の思考の流れに沿いながら登場人物に対する共感や疑問の言葉、考えるポイント等を投げかけ、児童が多面的・多角的な思考をしながら学習が進められるような工夫が見られる。</p>	<p>3年 目次 P81 P176</p> <p>3年 P131～139 P156</p> <p>3年 P8</p> <p>3年 P11 P12 P13</p> <p>3年 P40～42</p>

発行者	総 評	備考
224 学 研	<p>(1) 道徳の目標を達成するための内容項目としては、生命の尊さに加え、低学年ではしっかり生きる、中学年では仲よく生きる、高学年ではよりよく生きるを重点テーマとして設け、題材を多く配置している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、いじめ問題について、いじめを生まない力を引き出すために、さまざまな内容項目と関連させ、他人を理解し尊重して他者と共によりよく生きることを扱った題材を配列し、主体的に自分との関わりで考えられるように工夫している。また、問題解決的な学習については、児童自身に問題意識をもたせるため、自分の考えをまとめてから有意義な話し合いにつなげさせたり、学習の道筋を「学び方のページ」に提示したりすることで、児童が自ら主体的に課題を発見し、考えを深め、自己を見つめることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、題材学習後に「ふかめよう」「つなげよう」「やってみよう」「ひろげよう」のコーナーを設け多様な学び方ができるようにすることで、児童に異なる複数の意見を促したり、学んだことを日々の生活での実践につなげたりする学習が進められるような工夫が見られる。</p>	<p>3年 目次 P2, 3 P148 の次</p> <p>3年 P8～13 P54～57 P84～87</p> <p>3年 P8 3年 P12 P13 3年 P11</p> <p>3年 P12, 13</p>
232 廣あかつき	<p>(1) 道徳の目標を達成するための内容項目としては、善悪の判断・自律・自由と責任、親切・思いやり、生命の尊さを、特に低学年では節度・節制、低・中学年では規則の尊重も加えて重点指導内容とし、多く配置している。</p> <p>(2) 道徳性を養う指導を行うための内容の充実については、いじめ問題について、いじめをしない、させない、許さない、見過ごさない力を育成するために、善悪の判断、敬愛の念や協力、社会正義の実現などに関連させた題材を通して、主体的に自分との関わりで考えられるように工夫している。また、解決的な学習については、児童の主体的・対話的で深い学びを促すための手がかりとなる「めあて」の提示や道筋を分かりやすく示すためのいくつかの「問い」を載せたり、「自我関与」できる問いを配置したりすることで、道徳的価値を自己と関連付けて考えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、題材末に「考えよう話し合おう」を設定し、学習の進め方を示す「学習の道すじ」と学んだことを実際の生活に生かす「学習を広げる」コーナーを設けることで、今や今後の自分について考えを深めながら学習が進められるような工夫が見られる。</p>	<p>3年 目次 ノートを挟んでいるページ</p> <p>1年 P80～81 3年 P18～21 5年 P54～55 ⑦P30</p> <p>3年 P6</p> <p>3年 P15 P17</p>